

IRB の会議の記録概要

SUBARU 健康保険組合 太田記念病院 治験審査委員会 記録概要

開催日時	2024年9月10(火) 8時00分～8時15分
開催場所	太田記念病院 4A 会議室
出席委員名	根本 尚彦、寺西 貴英、岩澤 とみ子、伊藤 雅子、金井 敬幸、小林 操 須永 修司、野口 和彦、宗像 正仁、八木橋 健也
議題及び審議結果を含む主な議論の概要	<p>【審議事項】</p> <p>■議題 1-① (治験：消化器内科) (治験国内管理人) IQVIA サービスズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法として ABX464 を 1 日 1 回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第 III 相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 <p>(審議結果：承認)</p> <p>■議題 1-② (治験：消化器内科) (治験国内管理人) IQVIA サービスズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法として ABX464 25 mg 又は 50 mg を 1 日 1 回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第 III 相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 <p>(審議結果：承認)</p> <p>■議題 2 (治験：脳神経内科) アッヴィ合同会社の依頼による日本人の反復性片頭痛患者における片頭痛予防を目的とした、atogepant 経口投与の有効性、安全性及び忍容性を評価する、実薬継続投与を伴う第 II/III 相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 <p>(審議結果：承認)</p> <p>■議題 3 (治験：循環器内科) ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による心血管イベントのリスクが高い患者を対象とした ziltivekimab の効果を検討する第 3 相試験</p> <ul style="list-style-type: none">・安全性情報等に関する報告書 (2 件) に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 <p>(審議結果：承認)</p> <p>■議題 4 (治験：循環器内科) 株式会社メディコスヒラタの依頼による大腿膝窩動脈病変治療における BP-DPC18 の有効性及び安全性評価試験</p> <ul style="list-style-type: none">・治験期間が 1 年を超えるため、治験実施状況報告書に基づき、引き続き治験を実施する事の妥当性について審議した。 <p>(審議結果：承認)</p>

<p>特記事項</p>	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■報告 1（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたetrasimodの第3相非盲検試験に関する終了報告 ■報告 2（治験：循環器内科）株式会社メディコスヒラタの依頼による大腿膝窩動脈病変治療におけるBP-DPC18 の有効性及び安全性評価試験に関する進捗報告 ■報告 3（治験：循環器内科）ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による心血管イベントのリスクが高い患者を対象とした ziltivekimab の効果を検討する第3相試験に関する進捗報告 ■報告 4（治験：耳鼻咽喉科）グラクソ・スミスクライン社の依頼による慢性副鼻腔炎患者を対象とした GSK3511294 の第Ⅲ相試験に関する終了報告 ■報告 5（治験：脳神経内科）Biohaven Pharmaceuticalsの依頼による片頭痛患者の予防療法を目的としたBHV-3000（rimegepant）の第Ⅲ相試験に関する進捗報告 ■報告 6（治験：脳神経内科）アッヴィ合同会社の依頼による日本人の反復性片頭痛患者における片頭痛予防を目的とした、atogepant経口投与の有効性、安全性及び忍容性を評価する、実薬継続投与を伴う第Ⅱ/Ⅲ相、多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験に関する進捗報告 ■報告 7（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法としてABX464を1日1回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第Ⅲ相試験に関する進捗報告 ■報告 8（治験：消化器内科）（治験国内管理人）IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社の依頼による中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第Ⅲ相試験に関する進捗報告 ■報告 9（治験：小児科）ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による血液凝固第Ⅷ因子インヒビターを保有する又は保有しない小児血友病A患者を対象とした NNC0365-3769（Mim8）皮下投与による予防治療の安全性、有効性及び曝露量の検討に関する進捗報告 ■報告 10（治験：小児科）ノボ ノルディスク ファーマ株式会社の依頼による血液凝固第Ⅷ因子インヒビターを保有する又は保有しない血友病A患者を対象としたMim8の長期安全性及び有効性を検討する非盲検試験に関する進捗報告 <p>【その他】</p> <p>次回：2024年10月8日(火) 8時00分～ 当院4A会議室</p>
-------------	--